



HARA MUSEUM ARC

PRESS RELEASE 3/22/2011

美術館にクリーンエネルギー導入 ハラ ミュージアム アークの太陽光発電設備稼働開始について

ハラ ミュージアム アーク[群馬県渋川市金井 2855-1 館長:原俊夫]では、2011年 1 月より太陽光発電によるクリーンエネルギーの利用を開始しました。

1988 年に開館した当館は、2008 年に大規模な増築工事をおこないました。開架式収蔵庫や古美術作品を展示する特別展示室「観海庵」を新設し、建築規模も開館当初の二倍以上に拡大しました。そして昨年末に広大な敷地内を利用して太陽光発電設備を設置する工事に着手し、この度完成しました。ここで得られた電力は、主に美術品収蔵庫の空調設備電源に使用しています。

なお、この太陽光発電設備設置工事は、一般社団法人新エネルギー導入促進協議会から「平成 22 年度新エネルギー等導加速化支援対策事業[地域新エネルギー等導入促進事業]」の補助金を得て実現したものです。

太陽光発電システム概要

ハラ ミュージアム アーク太陽光発電システムは、敷地内の東側斜面に設置した太陽電池アレイ、その架台に取付けてあるパワーコンディショナ、日射計、気温計、これらを接続する配線及び交流集電箱、さらに館内に設置した計測装置と表示装置から構成されています。

太陽電池アレイとは、太陽電池モジュール(パネル)を組み合わせた太陽電池全体を表わします。今回設置した太陽電池アレイは、太陽電池モジュールが 384 枚(1 枚で最大 210W 発電)組み合わせられており最大発電量は 210W/枚 x 384 枚 = 80,640W (約 80 kW の太陽電池)となります。

パワーコンディショナとは、太陽電池アレイで発電した直流電力を、電力会社から供給される電力と等しい電圧と周波数の交流電力に変換する装置です。直流を交流に変換するインバータと、事故などの場合に系統を保護する系統連系保護装置とで構成されています。

太陽電池で発電した電力は8台のパワーコンディショナで交流電力に変換し、4台1組として接続し、2面の交流集電箱から40kW ごとの2系統の幹線で送電します。送電された電力は建物内の連系用分電盤に接続し、1系統にして受変電キュービクル内の低圧動力系統に接続して電力会社から供給されている交流電力と合わせて、主に作品収蔵庫の空調設備電源として使用できるようにしています。

そして常時、計測装置がシステムの発電量、日射量、と気温データを記録保存しています。また、美術館ロビーには、表示装置(液晶モニター)が設置され、来場者の方々に太陽光発電設備と発電状況の説明を行っています。



2011 年太陽光発電設備を設置



2008 年に新設した開架式収蔵庫

ハラ ミュージアム アークについて

原美術館[東京品川区北品川 4-7-25]の別館として 1988 年群馬県渋川市に開館。以来、世界の現代美術を集めた「原美術館コレクション展」や企画展を行ってきましたが、2008 年、静謐な和の空間に仕上げた特別展示室「観海庵」と専門家の調査研究の機会を提供する開架式収蔵庫を新設し、現代美術に加えて東洋古美術の「原六郎コレクション」も展示し、時代や地域を越えた多彩な美の表現を紹介しています。敷地内にはアンディウォーホルやオラファー エリアソンをはじめとする国内外アーティストの屋外作品が点在しています。また、美術館の隣には伊香保グリーン牧場があるほか、古くから湯治場として知られる伊香保温泉も車で 5 分の近さ。美術館の鑑賞とあわせてやすらぎとくつろぎを得られる環境にあります。

住所 〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1

Tel: 0279-24-6585,

Fax: 0279-24-0449

E-mail: arc@haramuseum.or.jp

ウェブサイト: <http://www.haramuseum.or.jp>

ブログ: <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum/>

ツイッター: <http://twitter.com/haramuseum>



外観

本件に関するお問い合わせ先

ハラ ミュージアム アーク 広報 品川千晶 / 柳田依子

Tel: 0279-24-6585, Fax: 0279-24-0449, E-mail: press@haramuseum.or.jp <http://www.haramuseum.or.jp>

Blog: <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum/>